

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校

学校だより 第2号

令和5年5月25日

うれしい!たのしい!大好き!

最近の若い方々は昔の歌を本当によく知っていると感じます。カテゴリーとして「懐かしの歌」等のくくりがあり、ネットで検索すればすぐに出てくるので、耳にすることが多いせいだと思います。そう、このタイトルは、今から30年以上前1989年にリリースされたDREAMS COME TRUEの曲名です。恋愛の歌ですが、このタイトルを聞いただけで、歌詞の中にもある♪何でもできる強いパワーがどんどん湧いてくるよ♪という感じでウキウキワクワク元氣になれます。



4月28日に新入生の歓迎と学年の隔てなく親睦を深める意味合いでスポーツフェスティバルが開催されました。1年生にとっては慣れない新生活で緊張がまだまだ続いているようでしたが、このスポフェスを通して一気に馴染んだ印象を受けました。2年生は昨年度を思い出し気持ちが盛り上がり、3年生は最後のスポフェスで気合が入りまくりという感じてした。負けて悔しがり、勝ってガッツポーズ、悔しいやらうれしいやらで涙する生徒が出るほど大盛り上がりとなりました。

ゴールデンウィークが明けて、1週間事前準備をした後に17日から2泊3日で3年生は神戸・大阪・京都方面へ修学旅行。翌18日から2年生が1泊2日で鎌倉・横浜方面に宿泊学習へ行っていました。5月8日から新型コロナウイルスが5類へ移行したこともあり、観光地はどこもかしこも大変な賑わいを見せていました。予報通りの天気ですら暑さや疲れから発熱者も出ました。また、人波にもまれたり慣れない場所だったりということでのハプニングはありましたが、アドバイスを素直に聞き入れたり皆で考えて対応したりで乗り切ることができていました。クラス毎や活動グループ毎での散策や食べ歩きでも、事前計画を踏まえつつ、リーダーを中心に相談しながら微調整したりお互いを気遣い助け合ったりする姿が見られました。

スポフェスと宿泊行事のどちらも、本当に生徒たちの満足した表情ややり遂げたという充実した感想が多く見聞きできました。今回の取り組みを見ていると、準備段階から教職員と生徒が一緒になってワクワクしながら計画を立て、当日も生徒が主体となりながらも教職員も楽しんでいたことが(教職員の方がより楽し



んでいたかもしれません!)成功の要因だったのではないかと感じました。先日の学校評議員会では、「先生方が生徒と同じ目線で取り組んでいることが素晴らしい」との言葉をいただきましたので、これからは自信をもって、生徒と教職員が一緒になって「うれしい!たのしい!大好き!」なことを増やしていければと考えています。

校長 三宅 健二郎